

実績確認概要書

平成 29 年 1 月 17 日

審査機関名 ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	健康センターにおける木質ペレットボイラー転換による CO2 削減事業
プロジェクト番号	KC0672
排出削減事業者名	株式会社平成楼
排出削減共同実施事業者名	環境経済株式会社 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	株式会社平成楼 (住所：埼玉県比企郡嵐山町先手堂 395)
事業の概要	本事業は、健康センター（宿泊施設・温水プール・温浴施設・飲食施設）の温水供給施設を重油ボイラーから木質ペレットボイラーに転換することにより、燃料コストの削減と同時に排出削減を図る。
排出削減量の計画	2010 年度 314tCO2/年 2011 年度 314tCO2/年 2012 年度 314tCO2/年 (国内クレジット制度 事業実施期間合計 942tCO2) 2013~2017 年度 321tCO2 /年 (J-クレジット制度 事業実施期間合計 1,605tCO2)
J-クレジット 認証期間	開始日 2010 年 4 月 1 日 終了予定日 2018 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 「ボイラーの更新」

2. 本実績確認の対象期間

2013 年 4 月 1 日～2016 年 6 月 30 日（第 4 回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	900tCO ₂ (2013年4月1日～2016年6月30日)
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	<p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 第4回目のため該当なし。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働確認 更新された木質バイオマスボイラは実績確認期間中、継続的に稼働していることを、関係者への質問、ボイラーの燃料として使用される木質バイオマスの請求書に記載されたデータで確認した。</p>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>1) モニタリング方法の確認 関係者への質問、ボイラーの燃料として使用される木質バイオマスの請求書に記載されたデータの確認により、方法論及び承認排出削減計画に沿ってモニタリングが実施されていることを確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性 関係者への質問、ボイラーの燃料として使用される木質バイオマスの請求書に記載されたデータの確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 使用されている単位発熱量、排出係数等が、J-クレジット制度モニタリング・算定規定(排出削減プロジェクト用) Ver.2.5及び承認排出削減計画に従っていることを確認した。</p>

	<p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>なお、リーケージ排出量の算定において、一般的には</p>
<p>算定期間が移行期間内であること</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2013年4月1日から2016年6月30日までであり、排出削減量を算定した期間が2018年3月31日を超えないことを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する再生可能エネルギー利用量について、熱量換算12,782.9GJであることを確認した。

以上